

ふるさと秋田農林水産ビジョン（案）の策定について

- 1．ふるさと秋田農林水産ビジョン（案）について ----- 資料 1
- 2．新農林水産ビジョンと農林漁業振興臨時対策基金（仮称）との
関連について ----- 資料 2

平成 2 2 年 1 2 月 7 日
農 林 政 策 課

「ふるさと秋田農林水産ビジョン（案）」の策定について （農林水産業・農山漁村振興基本計画）

農 林 政 策 課

「秋田の農林水産業と農山漁村を元気づける条例」に基づく基本計画として、「ふるさと秋田農林水産ビジョン（案）」を策定する。（資料１）

なお、さきの農林商工委員会での意見等をふまえ、その一部を修正するとともに、１２月補正予算に提案している農林漁業振興臨時対策基金（仮称）との関連を整理した。

1 前回からの修正事項

新ビジョンの位置づけを「基本計画」で統一

県と市町村の機能合体について、「県の役割」中にその考え方を明記

ナラ枯れ対策について、防除に加え、利活用を推進する視点を追加

本県農林水産業・農山漁村の目指す姿を広く県民に周知するため、新ビジョンの概要版を作成

大切なポイントが分かりやすく、見やすいように記載を変更

2 新ビジョンと農林漁業振興臨時対策基金（仮称）との関連について（資料２）

農林漁業振興臨時対策基金（仮称）では、農林漁業者が将来を展望し、安心して農林漁業に取り組める環境を整備するため、農林漁業の構造的な改革を加速する対策を集中的に実施することとしており、新ビジョンの各戦略のうち、構造的な改革に繋がる施策を集中的に実施する。

ふるさと秋田農林水産ビジョン(案)について

秋田県の農林水産業・農山漁村の強み

【農業】

- 1 食味・品質に優れた農業生産に適した気象条件
- 2 全国第3位の広大な農地と基盤整備が進んだ水田
- 3 県オリジナル品種の育成など農業分野における優れた技術開発力
- 4 全国トップクラスの認定農業者、集落営農組織
- 5 直売所など全国一の女性起業数

【林業】

- 1 全国第1位のスギ人工林資源と3位の素材生産量
- 2 製材から集成材など各種の木材加工企業が集積する有数の林業・木材産業県

【漁業】

- 1 100種を超える水揚げ介類
- 2 つくり育てる漁業の推進による資源量の増加

【農村】

- 1 生産から生活全般にわたる集落機能の維持
- 2 恵まれた自然環境とあいまった望ましい生活空間

時代の潮流・国の動向

【食・農業】

- 1 世界的な食料需給のひっ迫基調と食の安定供給への関心の高まり
- 2 安全・安心な食へのニーズの高まり
- 3 支援対象を兼業農家や小規模農家を含む意欲あるすべての農業者へと転換
- 4 農業者による経営の6次産業化の推進

【林業・環境】

- 1 二酸化炭素吸収や土壌災害防止、水源の涵養等、森林・林業の重要性の向上

【農村】

- 1 地域資源を活かし、第2次・第3次産業との融合による6次産業化、新たなビジネスの創出を推進

克服すべき基本問題

- 1 県産農林水産物の販売環境づくり
 - ・ 高い品質や食味、生産の安定性といった「秋田の価値」をマーケットに十分に伝えきれず、結果として価格交渉力を持つことができていない
 - ・ 秋田の強みを発揮できるよう、販売環境を整えていくことが必要

- 2 生産能力を最大化する基盤づくり
 - ・ 全国第3位の広大な水田や第1位のスギ人工林面積、全国トップクラスの認定農業者と集落営農組織を確保しているものの、農業産出額は東北最下位に止まるなど、そのポテンシャルを活かしきれしていない
 - ・ 本来の能力を十分に発揮できるよう、「人」「生産」「技術」の各基盤を整備することが必要

- 3 高いアピール力・需要創造力を発揮する産地づくり
 - ・ 県産農林水産物は、エンドユーザーに選択され、市場シェアを獲得していくためのアピール力に欠け、同時に中・外食や加工等の業務需要や健康や機能性などの成長が見込まれる分野への対応も不十分な状況
 - ・ 「訴求力」「需要創造力」に着目した物づくり、産地づくりが必要

- 4 多様な付加価値の創造
 - ・ 原材料の供給に止まる経営が多い中で、農業所得の向上を図るためには、直販や加工部門の取り込みや、観光など他産業との連携により経営の多角化を進め、付加価値を創出する取組が必要

- 5 農山漁村の活性化と社会資本の整備
 - ・ 集落機能の低下が懸念される中で、農山漁村の活性化を図るためには、自然・景観・文化等の貴重な地域資源を活用し、都市農村交流等により地域ビジネスを創出する取組を広げることが必要

- 6 環境の保全、環境との調和の促進
 - ・ 地球温暖化が進む中で、森林の適正管理により二酸化炭素吸収を推進するとともにバイオマス資源や太陽光等の新たなエネルギー導入を進めることが必要

6つの基本戦略

- 秋田の強みを発揮できる販売環境づくり
- (1)産地情報をダイレクトに伝える仕組みづくり
 - (2)多様なニーズに機動的に対応する流通・販売体制の確立
 - (3)県産農林水産物の安定供給体制の確立

- 新農林水産ビジネスの展開を支える基盤づくり
- (1)持続可能な大規模経営体等の育成と多様な担い手の確保
 - (2)農林漁業者の経営安定化対策の推進
 - (3)水田のフル活用の推進と生産基盤の整備
 - (4)生産・消費現場と密着した試験研究の推進

- 需要創造力と訴求力を兼ね備えた産地づくり
- (1)県オリジナル品種を主としたブランド品目の生産拡大
 - (2)安全・安心な県産農産物の供給体制の確立
 - (3)産地の強みを育てる新技術の普及・定着

- 他産業との融合による多様な付加価値の創出
- (1)他産業との融合・連携による多様な新ビジネスの展開
 - (2)食品製造業や観光業との連携促進
 - (3)グローバルな産地間競争に打ち勝つ木材総合加工産地あきたの確立

- 豊かで安心して暮らせる農山漁村地域づくり
- (1)地域資源を活用した農山漁村の活性化
 - (2)安心・快適な農山漁村空間の確保
 - (3)農地等の保全と利活用の促進

- 温暖化対策と環境保全対策の推進
- (1)新エネルギーの導入等による低炭素社会の実現
 - (2)水と緑の県民運動の推進
 - (3)森林の適正な管理による二酸化炭素の吸収促進

目指す姿(H32)

総合食品供給県としての地位確立

- ・ 多様な担い手がマーケットを意識しながら生き生きと活動
- ・ 高いブランド力を持った新産地が数多く形成
- ・ 他産業と連携した新ビジネスが各地で展開
- ・ 秋田のブランド魚種が全国に流通
- ・ 新たな流通・販売チャネルを確立し、水産ビジネスが展開

全国最大の木材総合加工産地への飛躍

- ・ 森林資源を効率的に活用できる体制が確立
- ・ 提案型の集約化施策が推進され、木材の安定供給体制が確立
- ・ 総合的な「木材加工産地」としての地位が確立

農山漁村の活性化と農地の維持・保全

- ・ 地域資源が活用され、他産業等と連携したコミュニティビジネスが展開

低炭素社会の実現と森林の多面的機能の維持

- ・ 新エネルギー導入が進むとともに、環境に配慮した産業が起業
- ・ 適切な森林整備により、森林の多面的機能が良好に維持

新農林水産ビジョンと農林漁業振興臨時対策基金(仮称)との関連について

農 林 水 産 部

